



スポンジボールを打ち合ったりしたマナーキッズ
ズテニス教室＝仙台市若林区のサンピア仙台

テニス通じて
元気になって
仙台・避難所で教室
避難生活が続けている
小中学生を対象にした
「マナーキッズテニス教

室」が26日、仙台市若林区のサンピア仙台で開かれ、同所に避難している小中学生やその家族約20人が参加した。
NPO法人マナーキッズプロジェクトなどの主

催。佐藤直子日本プロテニス協会理事長や仙台市出身の杉田祐一選手らが、屋内用の小型ラケットとスポンジボールを使って指導した。

参加した七郷中1年の佐藤久瑠美さん(12)は「学校ではソフトテニス部に入っているのですが、とても参考になった」と話していた。

マナーキッズテニスはテニスを通じて礼儀作法を身に付けてもらうのが目的で、各地で教室を開催している。マナーキッズプロジェクトの田中日出男理事長は「子どもだけでなく大人も体を動かすことで、少しでも元気を取り戻してもらえれば」と語った。